

- 問1 弥生時代に大陸から稲作の技術とともに伝わった金属器のうち、銅とスズの合金で作られ、主に豊作を祈るなどの祭祀（祭り）の儀式に用いられた道具の総称を何というか。 （2022年 島根県公立入試 類似）

1. 青銅器

2. 土器

3. 鉄器

4. 打製石器
- 問2 中国の歴史書『魏志倭人伝』の中で、邪馬台国の女王が即位した経緯や背景について説明した一節があります。その内容として最も適切な説明を次から選びなさい。 （2026年 岐阜県公立入試 類似）

1. 仏教の教えを広めることで民衆の心を安定させるため、優れた徳を持つ女子が大陸から招かれて王となった。

2. もともと男子を王としていたが、国の中が乱れて数年も互いに攻め合ったため、一人の女子を王とした。

3. 大規模な干ばつや飢饉が続いたため、農業の神に仕える特別な血筋を持つ女子を王とした。

4. それまでの世襲制を廃止し、中国の皇帝による直接的な任命によって、最も外交能力の高い女子を王とした。
- 問3 弥生時代に大陸から稲作とともに伝わった金属器のうち、硬くて鋭利な特徴を活かして、木工具や農具、武器などの実用的な道具として広く普及したものは何ですか。 （2016年 大阪府公立入試 類似）

1. 青銅器

2. 土器

3. 鉄器

4. 石器
- 問4 弥生時代の遺跡からは、青銅器と鉄器という二種類の金属器が発見されています。鉄器が農具の刃先として普及したことが、当時の社会に与えた影響として最も適切な説明を選びなさい。 （2023年 大阪府公立入試 類似）

1. 土地の開墾や耕作が容易になり、食料である米の生産力が向上した。

2. 石器に比べて加工が簡単だったため、各家庭で容易に自給できるようになった。

3. 農具が重くなったことで、小規模な家族単位での農業が不可能になった。

4. 青銅器よりも希少価値が高かったため、王の権威を示すための宝物としてのみ扱われた。
- 問5 1世紀の日本（倭）において、奴国の王が中国の後漢へ使いを送り、皇帝から「漢委奴国王」と刻まれた金印を授かった政治的な目的として、最も適切なものはどれですか。 （2024年 佐賀県公立入試 類似）

1. 遣隋使や遣唐使を派遣する前の準備として、航路の安全を中国側に確認するため

2. 中国の律令制度を日本に導入し、天皇を中心とした中央集権国家を築くため

3. 仏教を日本に伝来させるための正式な許可を、中国の皇帝から得るため

4. 中国の皇帝から自国の支配者としての地位を認めてもらい、周囲の小国に対して権威を高めるため
- 問6 弥生時代に製作された銅鐸や銅鏡などの青銅器について、その主な役割や目的として最も適切な説明はどれか。 （2026年 新潟県公立入試 類似）

1. 木材を加工したり土を掘り起こしたりするための実用的な工具として用いられた

2. 稲作の豊穰などを願うための祭祀の道具として用いられた

3. 大陸との交易において、通貨の代わりとなる経済的な手段として用いられた

4. 集落間の争いにおいて、敵を攻撃するための強力な武器として用いられた
- 問7 弥生時代に大陸から稲作が伝わり、食料を蓄えることが可能になったことで生じた社会の変化について、最も適切な説明を選んでください。 （2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 表面に縄目の文様がある、厚手で黒褐色の土器が全国的に作られるようになった。

2. 土地や水の利用、蓄えた食料などをめぐって、ムラの中で争いが起こるようになった。

3. 政府から農民へ平等に土地が割り当てられ、収穫した稲を税として納める制度が整った。

4. ナウマン象などの大型動物を狩猟するために、人々は移動を繰り返しながら生活するようになった。
- 問8 1世紀半ばに日本の「奴国」の王が中国へ使者を送り、皇帝から金印を授かったという出来事が記されている、当時の中国の歴史書として正しいものを答えなさい。 （2016年 大阪府公立入試 類似）

1. 後漢書

2. 日本書紀

3. 魏志

4. 史記
- 問9 紀元前後に位置する東アジアの歴史を記した年表において、1世紀半ばに日本の「倭」の中にあった「奴国」の王が、ある中国の王朝に使節を送り、その証として金印を授けられたという記述があります。この時、奴国の王が使節を送り、金印を授かった王朝の名称として正しいものを選択してください。 （2025年 愛媛県公立入試 類似）

1. 秦

2. 漢（後漢）

3. 隋

4. 魏
- 問10 佐賀県に位置する弥生時代の代表的な遺跡では、居住エリアの周囲を二重の濠（ほり）や高い柵が囲んでおり、外敵を監視するための物見櫓（ものみやぐら）の跡も見つかっています。この遺跡の名称と特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2022年 沖縄県公立入試 類似）

1. 三内丸山遺跡 — 縄文時代の巨大集落

2. 登呂遺跡 — 仏教寺院が建立された集落

3. 板付遺跡 — 広場に川が流れる開放的な集落

4. 吉野ヶ里遺跡 — 大規模な環濠集落
- 問11 弥生時代に大陸から伝来した金属器に関する統計資料において、武器や工具として実用的に使われたものとは別に、主に祭祀や儀式的な道具として分類される金属器があります。銅鐸や銅鏡などが代表例である、この金属器の名称として適切なものを選びなさい。 （2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 鉄器

2. 青銅器

3. 打製石器

4. 須恵器
- 問12 弥生時代の遺跡から発掘された人骨の中には、石の鏃（やじり）が刺さっていたり、鋭利な刃物によるものと思われる殺傷跡が残っていたりするものが多数見つかっています。このような人骨の発見から、当時の社会状況について推測されることとして最も適切なものはどれですか。 （2022年 沖縄県公立入試 類似）

1. 古墳と呼ばれる巨大な墓を造るために、強制的な労働によって多くの犠牲者が出たこと

2. 水田稲作の普及にともない、土地や水をめぐる集落間の争い（戦い）が激しくなったこと

3. 青銅器である銅鐸や銅鏡を、死者の権威を示すための副葬品として埋葬し始めたこと

4. 狩猟や採集を中心とする生活の中で、獲物を奪い合うための小規模な小競り合いが増えたこと
- 問13 弥生時代の遺跡で見つかる特徴のうち、当時の社会において集団間の緊張や争いがあったことを最も直接的に示しているものはどれですか。 （2021年 愛知県公立入試 類似）

1. 祭祀や宝物として用いられたと考えられる、複雑な文様が描かれた青銅製の銅鐸や銅鏡

2. 収穫した稲の穂を効率よく摘み取るために使用された、平らな石に穴を開けた石包丁

3. 集落を二重、三重に囲む深い堀や、尖った杭を並べた逆茂木（さかもぎ）の跡

4. 湿気やネズミの被害から穀物を守るために、柱にねずみ返しを設けた床の高い建物